

太子

だいで

議会だより

No.187

平成28年11月5日発行

茨城県
太子町議会

目次

- 平成28年度議会報告会 ……2～3
- 第3回定例会（決算審査） ……4～
- 〃（提出議案審議）…6～
- 一般質問に11名が登壇 ……9～19
- 「わくわくわたしの夢」 ……20

「議員はもう帰ってらなさい」

町民のみなさんから貴重な声をいただきました

平成28年度大子町議会「議会報告会」を、7月26日から3日間、町内9カ所で開催しました。

町民へのPR不足だったのか、どの会場も昨年度より参加者が少ない現状でしたが、参加した町民からは貴重な御意見・御要望等をいただきました。

各地区で出された御意見・御要望は次のとおりです。(抜粋)

〈印・現時点での回答〉

町議会関係

○議員定数について、区長会から意見が出されている。議会側の対応や進捗状況は。

↓適正な議員定数について、調査する組織を立ち上げ、議員間で協議している。

○町へ要望をしたいが、地元で町議がない場合はどうすればよいか。

↓要望の提出先が「議会」なのか「町」なのかで手法が異なる。町へ要望書を提出する場合は、特に規定はなく、議員の紹介も不要である。

○あんしん訪問事業の費用は税金である。事業の有効性や民生委員との連携もあいまいである。議会でも費用対効果をしつかりチェックすべきである。

↓文教厚生委員会において、検証を進めていく。



議会報告会の様子

町政関係

○スクールバス路線やみどり号路線の支障木伐採は、町からの依頼で地域ごとに実施している。手当は支給されるが、地域によっては高齢化により、数年後は困難になるのではないかと総務委員会において現況調査を実施する。

【町への要望】

○結婚していない男女への対策が必要だ。矢祭町、常陸大宮市、常陸太田市では、未婚者対象の部署がある。大子町でも結婚対策室を開設し、常駐の職員を置いて未婚問題の解消に取り組んで欲しい。

○袋田の滝周辺では、生瀬滝への山道の崩落、散策路の樹木による障害、吊り橋の老朽化が見受けられる。また、

男体山へのハイキングコースの点検など、来町した観光客に散策を勧められるように整備して欲しい。

○町民発想の町づくり補助金は3年間の限定だが、地域に根付いた事業であれば、今後も補助して欲しい。

○FMだいがを屋外アンテナ無しで受信できる環境が理想だが、中継局の増局、電波出力アップは電波法により難しいと伺った。しかし、難聴エリア解消への努力は継続して欲しい。

【その他の意見】

○災害時の給水に高齢者で困っている方がいるので、個別に対応できないか。

↓地域によっては、区長を中心とした自主防災組織が、独居老人宅へ

給水パックの配達を実施している。

○選挙に行きたくても行けない弱者に対しての対策はないのか。

↓高齢化社会の課題として、議会でも総務委員会で調査検討したい。

○人口が減り高齢者が増えたので、区や連絡班の見直しはできないのか。

○皆伐した山肌に残る木材の搬出道路による水害の心配はないのか。

○常陸太田市には、民間が経営する運動ジムがある。高齢化が進む大子町でも、健康寿命を伸ばすための一つの施策として、町の施設を使ってこのようなことができるか。

○国道118号などのインフラ整備は、地域の熱い思いが大事だと思う。将来のビジョンがなければ大子町も無くなってしまうかもしれない。県議・町長・町議が一緒になってやれば、夢のような話も、夢ではなくなるのが政

町民に伝える！
町民と話し合う！

大子町議会

7月26～28日の三日間

7月26日(火) 大子・池田地区、袋田地区、下小川地区

27日(水) 依上地区、宮川地区、生瀬地区

28日(木) 佐原地区、黒沢地区、上小川地区



町民からは厳しい質問が寄せられた

(1) 町負担…給食用備品、
(3) 負担配分

※給食の申し込みは、毎月行っています。

学年	対象者	10月申込数	割合
1 年	70人	23人	32.9%
2 年	82人	31人	37.8%
3 年	100人	44人	44.0%
生徒計	252人	98人	38.9%
職 員	78人	16人	20.5%
合 計	330人	114人	34.5%

② 実施人数及び利用率

◆ 歳入 681万3千円
◆ 歳出 1064万5千円

① 町の予算(平成28年度当初予算)

③ 負担配分はどれくらいか。

○ 大子清流高校で給食が実施されたが、①町の予算、②実施人数と利用率、③負担配分はどれくらいか。

町からの回答

議会報告会后、町執行部に確認しました。

○ 治ではないか。
○ 健康で長生きの手段として、高齢者が楽しみながら野菜づくりをし

て、小遣い程度の収入が得られる販売まで考慮した小規模農業の体制づくりはできないか。

配送業務、配食業務、給食申し込み受付、給食費の徴収業務
(2) 学校負担…生徒の給食費に係る口座引き落とし業務、教職員等の給食費徴収業務、配食室の貸し出し
(3) 生徒・教職員負担…給食申し込み、給食費

○ 原子力施設の災害時の避難について、①近隣市町村との連携はできているのか。また②ヨウ素剤の配布地域や使用方法がわからない。
①について…大子町は、東海第二原子力発電所から30km圏内である緊急時防護措置準備区域(UPZ)に該当しており、原子力施設に災害が発生した場合には、大子

○ 山の再植林には、多額の費用がかかる。補助を手厚くするべきではないか。

町を含むUPZ圏内の14市町村等により原子力防災拠点に設置される「原子力災害合同対策協議会」へ職員を派遣し、他の市町村と連携して対応することになっています。
②について…ヨウ素剤の配布や服用に当たっては、医師の関与の下で行われることとなっており、具体的な配付方法や服用の有り方については、国や県で継続して検討されている状況です。現時点では、3歳以上13歳未満が安定ヨウ素剤を1丸、13歳以上は2丸を経口服用し、3歳未満の幼児等は、薬剤師等が調整する液状の安定ヨウ素剤を国の指示により服用することとなっています。

① 町の奨励金の交付金額…植栽面積ヘクタールあたり20万円
※国もしくは県の補助事業を活用した森林所有者に対して交付
② 国補助(森林環境保全直接支援事業) 国費5.1/10+県費1.7/10=6.8/10
③ 県補助(県単造林事業) 県費4/10

報告会出席者アンケートから(抜粋)

・ 報告会の開催にあたってのPR不足。もっと努力したほうが良い。
・ 意見を伝えることができて良かった。
・ 議会一般質問に偏りがみられないか。同じような質問が多い。多様な意見を吸い上げる努力が足りないのではないか。
・ 議会報告会を引き続き開催して欲しい。
・ 報告会での質問の事前集約があっても良いのでは。

第3回定例会

決算を認定

主な事業と事業費

○森林機能緊急回復整備事業	37,193 千円
○道路新設改良事業	270,939 千円
○池田住宅建設事業	264,989 千円
○（仮称）頃藤住宅建設事業	28,220 千円
○消防施設整備事業	24,186 千円
○学校施設の耐震補強事業	322,008 千円
○教育施設空調機整備事業	100,135 千円
○生瀬コミュニティセンター整備事業	6,994 千円

平成27年度の執行状況

平成27年度の予算執行については、依然として自主財源の厳しい財政状況の下での執行となりましたが、行財政改革の推進による歳出の削減に努めながら、交通通信体系の整備、産業の振興、福祉対策事業、教育の振興、生活環境の整備等に係る各種事業の推進に努めました。主な事業の決算は次のとおりです。

また、平成27年度の一般会計歳入歳出決算は、歳入決算額が107億2895万9千円で、前年度と比較して12億4532万5千円、10・4%の減となり、歳出では決算額が100億3203万3千円で、前年と比較して15億414万4千円、13・0%の減となりました。特別会計及び水道事業会計の決算は別表のとおりです。



増築された頃藤保育所（ひよこ組 乳児室）



道路改良事業（池田地内）



道路改良事業（北田気地内）



新しくなった町営池田住宅



生瀬中学校耐震工事



各小中学校教室へエアコンが設置された

平成28年

平成27年度

平成27年度

○役場構内・庁舎等整備事業	7,915 千円
○光ファイバ整備事業	96,592 千円
○都市再生整備事業	9,774 千円
○（仮称）池田保育園整備事業	42,166 千円
○頃藤保育所増築事業	3,577 千円
○廃棄物処理施設整備事業	317,243 千円
○土地改良事業	42,146 千円
○奥久慈グリーンライン林道整備事業負担金	29,225 千円
○林道開設改良事業	29,084 千円

平成27年度 特別・水道事業会計決算

会 計 別		歳入決算額	歳出決算額
特 別 会 計	国民健康保険事業	30億3,603万9,632円	30億49万3,611円
	後期高齢者医療	2億3,157万2,669円	2億2,206万2,006円
	介護保険	24億1,735万191円	23億714万6,907円
	介護サービス事業	2,620万1,819円	2,620万1,819円
	浄化槽整備事業	1億130万4,649円	1億117万531円
水道事業会計	収益的収支	5億1,042万2,935円	4億5,171万5,658円
	資本的収支	1億5,556万1,221円	3億7,224万6,107円

※資本的収入が資本的支出に対し不足する額2億1,668万4,886円は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額1,277万9,617円、過年度分損益勘定留保資金9,435万9,864円、現年度分損益勘定留保資金6,954万5,405円、建設改良積立金取り崩し4,000万円で補てんした。

第3回定例会 提出議案等と審議結果

議案番号	議 案 名	結 果
報告第3号	継続費の精算報告について	報 告 済
議案第60号	大子町環境基本条例	原案可決
議案第61号	大子町税条例及び大子町税外諸収入の滞納金督促手数料及び延滞金徴収条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第62号	大子町固定資産税の課税免除に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第63号	大子町立集会所の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第64号	大子町文化福社会館の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第65号	大子町子ども・子育て会議条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第66号	大子町個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第67号	大子町営山の家の設置及び管理に関する条例を廃止する条例	原案可決
議案第68号	救助工作車の取得について	原案可決
議案第69号	消防ポンプ自動車の取得について	原案可決
議案第70号	大子町過疎地域自立促進計画の変更について	原案可決
議案第71号	町道路線の認定について	原案可決
議案第72号	平成28年度大子町一般会計補正予算（第3号）	原案可決
議案第73号	平成28年度大子町国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号）	原案可決
議案第74号	平成28年度大子町後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	原案可決
議案第75号	平成28年度大子町介護保険特別会計補正予算（第2号）	原案可決
議案第76号	平成28年度大子町介護サービス事業特別会計補正予算（第1号）	原案可決
議案第77号	平成28年度大子町浄化槽整備事業特別会計補正予算（第1号）	原案可決
議案第78号	平成28年度大子町水道事業会計補正予算（第1号）	原案可決
議案第79号	平成27年度大子町一般会計歳入歳出決算の認定について	原案認定
議案第80号	平成27年度大子町国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について	原案認定
議案第81号	平成27年度大子町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	原案認定
議案第82号	平成27年度大子町介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	原案認定
議案第83号	平成27年度大子町介護サービス事業特別会計歳入歳出決算の認定について	原案認定

議案番号	議 案 名	
議案第84号	平成 27 年度太子町浄化槽整備事業特別会計歳入歳出決算の認定について	原案認定
議案第85号	平成 27 年度太子町水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定について	原案可決及び認定
議案第86号	太子町公平委員会委員の選任について	原案同意
議案第87号	平成 28 年度太子町一般会計補正予算（第 4 号）	原案可決
委員会報告 第 1 号	教育予算の拡充を求める請願（請願第 1 号）	原案可決
議員提出議案 第 4 号	議員の派遣について	原案可決
議員提出議案 第 5 号	教育予算の拡充を求める意見書	原案可決

議案の賛否状況

採決に当たり、意見が分かれた議案の賛否状況をお知らせします。

議案 番号	議 案 名	賛否数		議 員 名														
		賛 成	反 対	菊池 富也	須藤 明	藤田 英夫	菊池 靖一	櫻岡 義信	中郡 一彦	岡田 敏克	大森 勝夫	金澤 真人	齋藤 忠一	佐藤 正弘	鈴木 陸郎	藤田 稔	野内 健一	吉成 好信
79号	平成 27 年度太子町一 般会計歳入歳出決算の 認定について	12	1	○	○	○	○	△	○	○	○	○	○	×	－	○	○	○
80号	平成 27 年度太子町国 民健康保険事業特別会 計歳入歳出決算の認定 について	12	1	○	○	○	○	△	○	○	○	○	○	×	－	○	○	○
81号	平成 27 年度太子町後期 高齢者医療特別会計歳入 歳出決算の認定について	12	1	○	○	○	○	△	○	○	○	○	○	×	－	○	○	○

※○＝賛成、×＝反対、△＝欠席 -＝議長（鈴木陸郎議員）は採決に加わりません。

太子町環境

基本条例が

可決されました

環境基本法（平成 5 年法律第 91 号）に基づき、本町の環境の保全及び向上に理念を定めるとともに、町、町民及び事業者の責務を明らかにし、環境の保全等に関する施策の基本となる事項を定めるため、条例を制定するものです。

【制定の概要】

- 一、町の責務に関する規定（第 4 条関係）
- 二、町民の責務に関する規定（第 5 条関係）
- 三、事業者の責務に関する規定（第 6 条関係）
- 四、環境基本計画に関する規定（第 8 条関係）
- 五、公害の防止に関する規定（第 9 条関係）
- 六、環境教育等の推進に関する規定（第 14 条関係）
- 七、環境審議会に関する規定（第 18 条関係）

平成28年度一般会計補正予算 2億4,137万7千円の増額

平成28年度大子町一般会計補正予算（第3号及び第4号）の主なものは別表のとおりです。補正後の予算総額は、歳入歳出それぞれ97億5,357万5千円となります。

また、国民健康保険事業特別会計440万5千円の増、後期高齢者医療特別会計17万1千円の増、介護保険特別会計3,445万1千円の増、介護サービス事業特別会計220万8千円の増、浄化槽整備事業特別会計8万円の増の補正がありました。

水道事業会計については、収益的収入340万3千円の増額補正のため補正後の予定額は5億1,231万5千円、収益的支出は1,361万8千円の増額補正のため補正後の予定額は4億7,630万5千円となります。

一般会計補正予算の主なもの

歳 入	補 正 額
国庫支出金	773万3千円
県支出金	1,494万5千円
繰入金	1,244万3千円
繰越金	1億3,918万1千円
町 債	6,646万6千円

歳 出	補 正 額
防犯灯整備支援事業補助金	20万円
庁内ネットワークセキュリティ強化事業費	7,273万4千円
袋田駅・上小川駅駐車場舗装工事費	481万円
地域医療介護総合確保基金事業補助金	1,236万円
介護職員初任者研修費補助金	100万円
（仮称）池田保育園整備事業補助金	214万2千円
土地改良事業補助金	51万9千円
特産品販売推進事業費	85万8千円
緊急植栽奨励金	600万円
年越し常陸国YOSAKOIフェスティバル補助金	40万円
（仮称）内大野住宅建設事業費	2,831万2千円
英語技能検定試験補助事業費	48万7千円
生瀬コミュニティセンター建設事業費	493万6千円
旧下野宮小学校プール等撤去工事費	982万7千円
旧下野宮小学校グラウンドゴルフ場整備事業費	827万7千円
旧大沢小学校グラウンドゴルフ場整備事業費	501万6千円
林道災害復旧事業費	178万円
道路災害復旧事業費	625万円
河川災害復旧事業費	1,411万円

大子町公平委員会委員に高瀬一郎氏を選任

大子町公平委員会委員に高瀬一郎氏（左貫）を選任（再任）することに同意しました。
任期は平成28年12月1日から4年です。

一般質問

「太子町環境基本条例」最大の目的は

「答」町民の健康で文化的な生活の確保である



齋藤忠一 議員

【齋藤】 今議会に提出されている太子町環境基本条例の最大の目的は何か。

【町長】 国の法律や県の条例等にとり、町として姿勢をきちんと定めるものであり、特に産業廃棄物の最終処分場の話等もあるので、住民が望まない施設の建設などに、ある程度歯止めをかけ、町民の健康で文化的な生活を守ることが、最大の目的である。

【齋藤】 近年、森林湖沼環境税や、バイオマス発電関連で森林の伐採が盛んに行

われているが、伐採後の搬出等で大きく山が削られ、そのまま放置されているところもある。観光地としての景観が悪いうえ、土砂災害等も心配される。今後、更に増える傾向もあり何らかの対策が必要ではないか。

【町長】 伐採後の山林が裸山となり、非常に荒れているのは十分承知しており、それらの対策は、環境保全面でも大切だと思っている。最大の原因は、伐採後の植林がされていないことにある。植林を促すためにも、今議会に提出している緊急植栽奨励金事業により、植林をする山林地主の負担を軽減し、山林の再生を図っていききたい。

観光振興には、支障木の伐採を



皆伐後の山林は無残な姿を残す

【齋藤】 国道461号常陸太田市高倉地内のバイパス開通により、交通のアクセスが良くなり太子町へもより多くの観光客が見込まれる。しかし、ルートによっては、支障木などにより大型観光バスの通行の妨げになっている所が見受けられる。今後、計画的に伐採が必要ではないか。また、奥久慈観光のスポットでもある久慈川の清流なども、河川敷にある支障木で景観が損なわれている。観光振興のため伐採が必要ではないか。

【建設課長】 常陸太田市高倉地内のバイパス開通により、太子町と常陸太田市の往来が容易になり、広域的

な周遊観光が進むと期待される。観光に使用される路線は、国道あるいは県道であり、久慈川の河川敷なども県の管理となっているので、それらの支障木については、町としても県の方に働きかけをしたいと考える。

教育環境の整備を

【齋藤】 小学校や中学校の図書室などの特別教室には、エアコンが設置されていない学校がある。教育環境の整備からエアコンの設置は必要ではないか。

【教育委員会事務局長】 児童・生徒が、よりよい学校生活を送れる環境整備のため、図書室等の特別教室へのエアコンの設置を進めていきたいと考えている。

一般質問

環境条例案に現実論を盛るべき

【答】基本計画で制定すれば充分



大森勝夫 議員

放射線の空間線量の公表も該当すると考える。バイオマス発電施設の周辺地域の測定や公表の方針は。

【町長】町内の小中学校や幼稚園の放射線測定値は全て公表している。バイオマス発電に使用する木材の放射能値についての情報も公表するのが基本姿勢である。

ボランティア協力により協働の町へ

【大森】町民からのボランティア要請を取りまとめる窓口を役場内につくり、その情報から若手職員が任意でボランティア活動に参加するしくみができないか。

①役場は若者が多いこと、
②自分の興味のある分野の

経験ができること、③町民と職員の協力から「協働の町づくり」の町民理解が浸透すること、などが挙げられる。検討できないか。

【総務課長】社会福祉協議会に12団体が登録され、各種事業へのボランティア参加を調整している。町職員は災害派遣をはじめ消防団や地域サークルへの参加を実施している。

【町長】情報窓口は災害時などに有効だが、ボランティアといってもたくさんあるので、あまり民間の活動に行政が関与しない方がいいと考える。

定住相談は窓口ひとつで済む体制に

【大森】ひとつの窓口で定住に関する相談が全てできる体制が必要だ。（空き家情報はまちづくり課、町営住宅は建設課、農地を宅地に地目変更は農林課が担当している）取り組み状況は。

【町長】移住交流支援員をまちづくり課に配置して対応している。

【大森】定住相談窓口を、玄関正面である町民課付近に設ければ、来庁者への宣伝効果も期待できるのではないか。

【町長】業務が多様なので、窓口には職員を固定するより、担当課内に配置して仕事をしたほうが効率的である。

ふるさと納税に定住という返礼品を

【大森】ふるさと納税の返礼品は注目度が高く、宣伝力が高い。そこで返礼品に、山田ふるさと農園に類似し



お礼の品の注目度を利用すべき

た居住地の提供など、定住に関する品目を加えて話題性を高め、定住推進の町としてのイメージづくりとアピールをしてみてもどうか。

【財政課長】ふるさと納税のお礼に定住地の貸与となると、場所の選定や寄付額の設定など難しい条件が多く、お礼の品としては好ましくない。しかし、お礼の品を増やす方針はとっており、販促効果も期待できるので事業者からの申し込みを随時募集している。

一般質問

体験型のレジャー施設の整備を

【答】受け入れ態勢の充実を図りたい



中郡一彦 議員

【中郡】近年レジャーも多様化している。若者や家族連れの観光客は、単なる観光より体験型のレジャーを求めていると思う。町の考えはどうか。

【町長】旅行の形態も多様化し団体旅行が減り個人旅行が増加している。若者や親子で来る観光客への対応も必要であると考えている。

【中郡】近頃、若者や子どもたちに人気を呼んでいる「ジップライン」を体験型レジャーのメインとして整

備してはどうか。これは、本町のように自然豊かで多くの山々と森林が存在する自然環境にマッチした事業になるものと思われる。また、子どもたちの自然環境教育や心身の健全育成に役立つものと思われる。設置するにあたり、莫大な費用もかからないので、整備する価値があると思うがどうか。

【町長】提案は良いと思うが、単独で整備しても集客という面で問題がある。現在ある公園等に併設して整備し、全体の利用客を増やすことが有効と考える。周辺に適地があるのか、民間の事業者に見ていただき、町として検討したい。

袋田の滝の水量不足の対応は

【中郡】今年は異常気象と思われるような天候が続き、袋田の滝もかつてない水量不足となった。夏涼

を求めて滝を訪れた観光客には、期待外れの結果となった。今後このような事態が発生すると考えられるが、町として水量調整等の対策を検討する考えがあるのか。それとも自然の現象には手を掛けないのか。

【町長】以前にも水不足対策として調整池を作る話があり、県の方で検



ジップラインの整備で森林資源の有効利用を

討したことがある。莫大な費用がかかる上に、さまざまな条件がクリアできず整備することは難しいという結論になった。また、袋田の滝は、ジオパークの拠点として、水が少ない時に見に来ようという方もいると聞いている。岩肌の景観も売りにできればとも考えている。もう一つは、自然の滝ということで売り出しており、上流で水量調整をしているとなると、滝のイメ

ージが壊れる恐れがあるので難しい。



子どもたちに人気のあるジップライン

遊休農地の固定資産税は

【中郡】遊休農地を現状のままでも利用をしなければ、固定資産税の減額を解消する方向で話が進んでいると聞か、町としての考えは。【町長】国からそういった方針が出ている。利用したくても利用できない農地に課税することには抵抗感がある。ただ、さまざまな制限があり今後の課題になると感じている。

一般質問

木材の放射線量の測定は

【答】企業の存続をかけ実施している



佐藤正弘 議員

【町長】どこから来たにしろ、測って問題がなければいい。業者がきちんと企業の存続をかけ行っている。

【佐藤】放射線量を含んだ木材を燃焼させた場合、フィルターへの付着、同量の放射線量が内部に残るのではない。また、どのように処理するのか。

【町長】バグフィルター等に付着した飛灰は、毎日排出装置から梱包材に集約し専門の廃棄物処理業者に渡す。

【佐藤】子ども議会でポテトチップスにも20から30ベクレルの放射線が含まれると答弁しているが誰が検査したのか。

【町長】原子力安全研究協会刊行の生活環境放射線データに関する研究といった本に基づいた数字である。



町民から不安の声が寄せられた昨年の企業立地説明会

【佐藤】始めから、自然界のもの、原発事故によるもの、人体に有害なものを分けて話せばいいのではないのか。

【町長】カリウムであれセシウムであれ同じである。放射線がどれだけ強いかわという話である。

【佐藤】6月議会で福島原発事故以後、甲状腺の検査を行ってきたが今年度は実施しないと答弁している。専門医への相談、アドバイスがあったのか。

【町長】太子町の線量は最高で1・41マイクロシーベルトであり、被ばく線量が県内で一番高かった北茨城と比べると10分の1以下である。甲状腺がんのリスク

甲状腺検査は続けるべきでは

934名で何も異常がないということではない。福島県の検討委員会でも継続的な検査が必要としている。

【町長】現状から必要ないと判断した。

【佐藤】個人で検査に行く場合、学校は欠席になるのか。

【教育長】健康診断ということで出席となる。

【佐藤】保護者への通達で、その他の検査無料とはどのような検査なのか。

【健康増進課長】ホールボディカウンタを無料で実施している。

【佐藤】震災復興交付金を申請すればできるのではないのか。

【財政課長】27年度については、甲状腺等検査事業として、730万円算入されている。今後については、現在のところはっきりしていない。

【佐藤】A2と判定された児童・生徒は26年が952名、27年が

一般質問

特産物の販売体制を強化すべきでは

答機動的に動ける体制を考える



金澤眞人 議員

【金澤】 飼料稲WCSを作る機械に補助してはどうか。

【町長】 民間が単独で購入するには高額なので、今後、希望があれば助成を考えた

【町長】 山田地区に建設中の野菜カット工場の材料を地元から供給することはできないか。

【農林課長】 将来的には地

【金澤】 再生産可能な米価はどのくらいと考えるか。

【農林課長】 国の試算では60キロ当たり1万3600円ほどだが、町としては1万5千円以上である。

【金澤】 米の直販比率はどのくらいか。

【農林課長】 直販44%、自家消費36%、出荷20%となっている。

【金澤】 飼料稲や飼料米の需給バランスは。

【農林課長】 飼料稲については需要に供給が追い付かない状態である。

大子町の林業の将来像について

【金澤】 木材価格が低迷している。森林整備をどのように考えているか。

【町長】 県では森林湖沼環境税によって間伐あるいは作業道などへの助成をしている。国では皆伐後の植林に経費の68%の補助事業がある。町としても1ヘクタール20万円の補助を考えて

元の野菜を使う話もあり、JA常陸や生産者と連携して働きかける。

【金澤】 町の特産物のPR及び販路拡大に販売体制を強化すべきではないか。

【町長】 町の農業が生き残るためにも特産品をいかに販売するかが大切であり、農業公社など機動的な販売体制を考えていきたい。

いる。

【金澤】 バイオマス発電事業は森林整備に役立つか。

【町長】 用材として使えるものでも条件の良いところはバイオマスの材料として販売できることで森林所得の向上につながる。

【金澤】 個人が軽トラなどでバイオマスの燃料を搬入

することはできるのか。

【まちづくり課長】 間伐材等由来の木質バイオマスであることの証明が必要であり、個人で認定は難しいが町が代行する仕組みを検討している。

町の再生エネルギー施設の状況について

【金澤】 袋田太陽光発電所の状況は。

【まちづくり課長】 昨年8月から問題なく稼働している。

【金澤】 大子ヴィレッジ太陽光発電所の状況は。

【まちづくり課長】 許認可の手続きについて最終調整をしている。

【金澤】 (株) エジソンパワーによるバイオマスガス発電所の状況は。

【まちづくり課長】 基礎工事のくい打ち工事を行っている。9月末に公有財産売買契約を締結する。

【金澤】 (株) クリハラントによる木質バイオマス発電所の状況は。

【まちづくり課長】 発電所建設の許認可手続きについて関係機関と事前調整を進めている。また町道の整備と用水の供給を町と協議している。

その他の質問
○子育て支援住宅の建設について



さまざまな利用が広がる木材資源

一般質問

町営住宅等の住環境の整備を

【答】各住宅居住者の要望をふまえ検討する



菊池富也 議員

るが、老朽化の激しい住宅も多く見られる。それらの住宅の今後の対応は。

【町長】老朽化が進んでいる住宅、団地がかなりあるので、各住宅居住者の要望をふまえ、計画的に改修・解体を進め、建て替えも検討していく。

【菊池】これらの古い住宅が、改修あるいは新築されるまでの間、家賃を下げて対応できないか。

【町長】入居者の家賃は所得に応じて決定しているので、住環境に不便をきたしていると思うが、家賃については適当だと思う。この家賃が修繕費にも活用されるので理解していただきたい。

【菊池】民営アパートの入居者や経営者に対する補助を、町独自の施策として考

えてはどうか。

【町長】新婚の家庭には、1か月2万円を3年間補助するような制度を検討している。

道の駅周辺の整備と駐車スペースの確保を

【菊池】道の駅奥久慈だいが利用客や、久慈川のアユ釣り客、各種イベントの開催時など、駐車場の確保が難しいと聞くが、久慈川の河川敷を活用した駐車スペースの確保はできないか。

【観光商工課長】久慈川のアユ釣り客や道の駅利用者には、役場駐車場や湯の里公園を開放し、イベント時はだいが小学校校庭、中央公民館グラウンドなど、最

大2千台の駐車スペースを確保して対応している。久慈川の河川敷の活用については、現状では利用できない。

【菊池】旧黒羽町的那珂川河川敷は、大変良く整備されている。そこを参考に池田橋から道の駅の前までの久慈川河川敷を整備し、駐車スペースを確保できないか。

【町長】久慈川は幅が狭いので同じようなものは難しいが、大規模ではなくても、川に親しむような施設や駐車できるような場所の設置について、県と協議を進めたい。

【菊池】久慈川の河川敷の花木等は整備できないか。

【観光商工課長】河川敷は県の管理下にあるため、新規の植栽は難しいが、現存のものを活用していきたい。

【菊池】観光や周辺の整備し誘客に利用できないか。

【観光商工課長】景観の改善を目的に、やなの対岸の国道沿いと下流の親水公園等の整備を進める。

【菊池】小久慈の貯木場の今後の利活用を考えてはどうか。

【町長】民有地なので、現在の利用が終了した時点で検討したい。



整備が望まれる道の駅周辺の久慈川河川敷

一般質問

大子町の甲状腺等検査の延長は

【答】総合的に判断して検査は行わない



吉成好信 議員

【吉成】 大子町での甲状腺等の検査は平成26年と27年の2年間のみで本年は実施していない。

子育て日本一を目指す町であれば、継続的に検査を実施する必要があるのではないかな。

福島県では甲状腺がんの発生が問題になっている。福島県民健康調査によると子どもの甲状腺がんの患者は30名である。がんの疑いのある人数だと173名になる。しかし、被害を小さく見せようとしているので

はないかと、検査結果に一部の親たちは不信感をいだいているのも事実である。

チェルノブイリでは事故後14年を経過してから発症した子どもの事例も報告されている。このようなことから、長期間にわたって継続して甲状腺がんの検査を実施することが重要であり、大子町のように2年で打ち切ったのでは調査不足

としか言いようがない。1986年4月26日に起きたチェルノブイリ原子力発電所4号炉の爆発は、人類史上で最悪と言える原発事故である。甲状腺がんの患者が多発し、手術が成功しても首の周りに残った跡を、チェルノブイリの首飾りとやゆされる状況にある。

チェルノブイリのたった

1つの原子炉から放たれた放射能は、広島や長崎に投下された爆弾より数百倍の放射能汚染をもたらし、隔離された原子炉ドーム内にどれほどの放射能が残留しているのか現在でも不明であるという。

被害状況は事故発生から20年を経過した2006年に公式見解が示され、関連死者数は約9千人、関連患者数は20万人と発表された。

事故から3年もの間、ソ連政府は事故の危険性を隠蔽し、それにより何も知らない人々が急性白血病で亡くなっていたという。

原子力関連の事故では、大惨事であっても、周囲への影響を小さく見せようとする傾向が過去の事例から見受けられる。

大子町の甲状腺がんの検査も2年でやめてしまうのではなく、毎年実施して子どもたちの健康管理をするべきと考えるが町の見解は。

【町長】 甲状腺がんの検査を本年実施しなかった理由は、大子町で過去2年間にを行った検査結果に異常が認められなかったからである。

福島県では最大25・1ミリシーベルトの被ばくがあったと言われている。大子町においては、0・06マイクロシーベルトから最大箇所でも1・4マイクロシ

ーベルトの被ばく量であり、福島県の2万分の1程度の被ばくでしかない。このことから、福島県と同じ環境と仮定して論議することはできない。ましてチェルノブイリの例は

被ばくの状況が大きく異なり、議論の対象になりえない。

通常の胸部レントゲン検査は50ミリシーベルト被ばくする。環境省や放射線医学研究所では、100ミリシーベルト以下の被ばくであれば、がんの発生率が高くなることはないとの見解を示している。

そうしたことを総合的に検討して検査を行わない判断を下した。



被ばく検査の様子

一般質問

地域おこし協力隊の支援体制は

【答】町に定着できるように検討する



藤田 稔 議員

【藤田】活動に対して町はどのような支援をしているのか。

【藤田】町においての地域おこし協力隊の活動状況は。

【まちづくり課長】3年前に開始し、現在、男性2名、女性6名でそれぞれのスキルを活かして地域活性化に向けた取り組みへの支援を行っている。

【藤田】活動費や報償費はどのようなになっているのか。

【まちづくり課長】一人当たり400万円を上限として、特別交付税として財政支援される。

【まちづくり課長】町民との間に、地元へ根差した活動ができるようにしている。また、活動期間が3年あるので、それ以降も町に定着していただけるような支援のあり方の検討もしたい。

【藤田】各種団体への補助金の総額、団体数は。また、補助金等の見直しはされているのか。

【財政課長】平成27年度の運営補助は、5673万6千円で57件。事業補助は、3億3814万1千円で98件となっている。

【総務課長】平成22年度に14事業について2451万円の見直し減額をした。第5次総合計画の中では見直しは入っていない。

子育て支援新事業の現状は

しは入っていない。

【藤田】①新生児すくすく祝金事業、②結婚活動支援事業、③結婚新生活応援補助金事業があるが、それぞれの現状は。

【福祉課長】①第一子10万円、第二子20万円、第三子以降30万円を支給している。27年度は74人に1290万円を支給した。今年度は9月現在19人で、昨年度より24人少ない状況である。

【まちづくり課長】②結婚の推進を目的とした交流イベントを開催している。今までに7組のカップルが誕生している。③対象者は、

平成28年4月1日以降に婚姻届を提出し、受理され町内に住所を有している方である。対象経費は、町内の住宅取得費用（初年度1回

限り72万円上限）、家賃・敷金・礼金・共益費及び仲介手数料（36カ月限度、月2万円）となっている。

新たな手法で町の情報発信を

【藤田】観光SLバスの運行状況は。

【観光商工課長】学校関係の利用が増えている。公用バスとして活用していく。

【藤田】ライトアップ事業については、町・観光協会・振興公社等が連携して進めていくべきではないか。

【観光商工課長】関係者と議論を重ね、反省点を今年度の事業につなげていきたい。

い。

【藤田】観光等で町を訪れた方に、観光宣伝と合わせて、町独自施策の発信をしていくべきと思うが。

【まちづくり課長】福祉の町づくり、子育て支援、空き家情報などの情報提供を、観光施設やコンビニなどで行い、移住・定住の促進につなげていきたい。



新たな手法で町の情報発信を

一般質問

町の防災で優先事項は

【答】久慈川の堤防整備である



野内健一 議員

【野内】 大子町の災害対応における課題とは何か。さらにその点に対する主な取り組みとは。

【町長】 一つは、事前になんかという対応がとれるのか、組織化して対応を実施すること。二つ目は、災害が起きた場合、どういう救助活動ができるのか、そのための体制づくり。三つ目は、被災された人たちへの支援と早急な災害復旧である。これらのために、現在各地区に自主防災組織を結成して活動している。

【野内】 より具体的な課題として挙げられるのは。

【町長】 町として最も心配しているのは、久慈川の堤防ができていない点である。今までに全国で発生している災害を見ても、堤防の必要性を痛感している。地域としては、川山地区から矢田地区にかけての久慈川右岸と、池田地区の久慈川左岸に堤防ができていないことが、非常に大きな課題として残っている。

【野内】 東日本大震災のときに問題となった、町内各地への情報伝達については、その後にFMだいの設置運営など改善されてきたが、その他の改善策は。

【町長】 災害時の情報伝達には人から人への伝達と、電波を使った情報伝達といった二つの方法がある。人

から人への情報伝達については、自主防災組織を立ち上げて改善。電波を利用した情報伝達としては、県と町とで防災情報ネットワークシステムを整備し、携帯電話へ自動メールが配信されるシステムである、エリアメールの体制を整えている。

【野内】 自治体が大きな災害に見舞われたとき、国や全国の自治体・各種団体や民間ボランティアの人たちから支援活動の申し出があるが、その時にその人たちが有効に受け入れることができるのか。その対応能力によって、その自治体の受援力があるのか、ないのか判断されると言われているが大子町はどうか。

【町長】 大子町では、災害対策本部の行動について明

確なマニュアルを策定している。その中で、受け入れ態勢についても想定しているので心配はない。

【野内】 被災された自治体の首長は、どなたも被災される前の段階では、マニュアルが作成されているので心配は要らないといわれていたが、被災後の反省では、マニュアルどおりには動けなかった。マニュアルで規定されている活動が不可能であることが理解できた、との報道を耳にする。大子町も年一回実施する全町民参加の防災訓練で、ボランティアの受入れ態勢の訓練も実施してはどうか。

【町長】 一番重要なのは、本部長の判断能力、危機対応能力である。それが常に試される部分である。

【野内】 茨城県は今年の3月16日

に、つくば市にある防災科学研究所との間で、包括的な連携協定に関する協定を締結したとの発表があった。そこでは県が各自治体に対して、防災科学研究所が持っている研究成果や、災害対応の知見を提供することだが、どのような連絡があったのか。

【町長】 話は聞いているが、内容の報告はまだない。



急がれる久慈川の整備

一般質問

新たな生ゴミ処理器に補助金を

〔答〕補助対象として検討する



菊池靖一 議員

で、状況を把握して対策をとることが重要である。

土の中にいるバクテリアを利用して生ゴミを分解する「バクテリアアデキエーロ」

を以前にも取り上げ役場で実証実験を行ったことがあるが、ランニングコストがかからないこの生ゴミ処理器を補助金の対象にして普及させることができないか。

〔環境課長〕現在、生ゴミ減量化対策として電気生ゴミ処理器に限り、補助対象にしているが、提案された

木材の放射能測定その後の考えは

〔菊池〕6月の質問で放射能測定の話がかわりとして、方法や基準の明確化を訴えた。町長は「ルールを作ることも必要かと思うの

生ゴミ処理器も減量化の有効な手段と思われるので今後補助対象として、町の広報誌等で紹介していくことを検討したい。



自作の「キエーロステッカー」

で、業者と検討していきたい」と答弁しているが、その後どのような検討がされたか。

〔町長〕放射能測定は事業

者の責任で行い、結果については報告を求め公表をしていく。

町独自の対策としては、発電所施設周辺数カ所の空間線量を定期的に測定して公表する計画である。

〔菊池〕事業者はどのような基準で測定しているのか。

〔町長〕土場への搬入時に全てのトラックごと、貯木場は200tごと、燃料としてチップにしたとき、灰は企業からの報告書をもらって公表するという計画になっている。

〔菊池〕搬入される車ごと

皆伐後の植林計画の詳細は

〔菊池〕皆伐後の植林に対し奨励金を支給する緊急植栽奨励金制度が提案されているが、制度の詳細については。

〔町長〕皆伐後の植栽は平均的に1ha当たり70万円かかる。国補の対象になれば約50万円の補助があり、残り20万円が自己負担になる

に測定をしているということだが、これまでにながりの台数が入ってきているが今までの測定結果はどのようなになっているか。

〔町長〕聞かれた場合には公表するが、過去の分はまだもらっていないので、データをもらい皆さんが知りたい情報は公表したい。

〔菊池〕データの管理はこの課が行うのか。

〔まちづくり課長〕データの管理及び公表方法等については、バイオマス発電誘致の担当課のまちづくり課で行う。

のでその分を町で補助したい。

〔菊池〕植栽後の管理はどのように考えているか。

〔町長〕下刈りも国の補助があるが、県へ下刈りの補助を出すように話しているので、県が上乗せすれば残り分を町が支援していきたい。

一般質問

奥久慈だいで築の消えた出資金は

【答】組合長の立場で法的な対応は難しい



岡田敏克 議員

的な運営の見直しを行ったところ、出資金が使いが果た

思う。

されおり、運営ができな
いことが判明し、倒産寸前
に追い込まれる状況を示し
た。一番の被害者は出資者
だが、充て職の町長や新し
く支配人を引き受けた、地
域おこし協力隊員でもあ
る。設立当初8千万円あっ
た出資金が、29年間経過し
た現在、なぜ1円も預金通
帳に残っていないのか謎で
ある。出資金は預り金であ
り、担保金である以上、返
金を求められた場合、最終
的には返さなければならな
いことになっている。倒産
の状況に追い込んだのは誰
で、原因は何だったのかを
はつきりさせていきたい。
出資金とは何なのか。

【岡田】出資金は、最終的
に返金を求められた場合に
は返金をしなければならな
い。出資金は、今現在いく
ら残っているのか。今年3
月の総代会での貸借対照表
では6154万8507円
が残っていると記載されて

いる。残ってなければ虚偽
の決算報告ではないか。現
金としていくら残っている
のか。
【町長】現金としては残っ
ていない。
【岡田】築組合には監事が
いるが、この監事の責任は
重い。責任がないのか。あ
るのではないか。形だけの
監事だったのか。29年間の
間、何の指摘もしなかつ
たのか。不思議に思う。
【町長】自分も充て職での
組合長だが、責任はある。

形で奮闘し、今年になって
税理士に依頼し、前支配人
に運営の内容を確認しよう
としても「辞めたのだから
関係ない。」と非協力的と
のこと。出資金を食いつぶ
したと考えられる。町民の
税金である出資金を含め、
個人の出資金の返金を、組
合長である町長が前支配人
や築役員に対し、訴訟を起
こすべきで、泣き寝入りは
できない。責任をはつきり
すべきである。
【町長】法的な対応は難し
いところがある。

役場庁舎建設について

【岡田】町役場の新庁舎建
て替えには、八溝材等、木
材を利用しては。

【町長】木造での建設を考
えている。

その他の質問

○役場職員及び学校教諭の
綱紀肅正について

大子観光やなは再建できるのか？



黒字化に取り組み、
そういう形で責任を
とりたい。

【岡田】数年間赤字
を出しているにも関
わらず、前支配人は
1回のボーナスで
50万円を受け取っ
ていた。給与はどれく
らい支払われたの
か。
【町長】答弁は控え
たい。

【岡田】新支配人が
一生懸命に尻拭いの

【岡田】奥久慈だいで築組
合は、今から29年前に久慈
川漁協組合員の中から出
資金一口2万円（一人30
口まで）を募り、町から
1200万円、観光協会
から60万円、商工会60万
円、久慈川漁協100万円
で独立設立。組合長は充て
職で町長が、監査・理事役
員等は出資者の中から選出
し、実務的には支配人が中
心となって運営されてき
た。今年の3月以降空席だ
った支配人に、地域おこし
協力隊員が任命され、本格

【町長】組合員になるため
に出資した持ち分になると

— 大子っ子の夢、応援しています —

わくわく

わたしの夢



私の夢は、高校へ行って陸上競技をすることです。

二年生と三年生の時には一位、中央地区では四位になることができました。また、二年生の時には県の強化練習にも参加しました。それで少しずつ自分に自信がついてきて、もっと陸上競技をしたいと思うようになりました。



南中学校 3 年
たけうち なつみ
竹内 夏海さん
(大字頃藤)

しかし、私が入学したいと思っている陸上競技部のある高校に合格するには、まだ学力不足だと思っています。だから、頑張つて第一希望の高校に合格したいです。そして、夢がかなったら、しっかりと練習をして、次の目標を見つけて、達成できるよう精一杯努力したいと思います。そのためにも、日々の積み重ねを大切にしたいです。

インターネットで 映像配信

町議会では、インターネットによる議会中継を配信しています。定例会及び臨時会のすべてを生中継するとともに、閉会後は、録画配信も行っています。スマートフォンでも見るができますので、大子町議会の様子を是非映像でご覧ください。

FM 放送の お知らせ

町議会定例会の一般質問を FM だいで聴くことができます。生放送のほか、録音放送もしていますので、是非お聴きください。放送日、時間等は FM 放送等でお知らせします。

議会を 傍聴しましょう

議会傍聴は、町政を知る良い機会です。お気軽にお出かけください。

12 月定例会 開催予定

- ▽ 7 日 (水) 開 会
- ▽ 8 日 (木) 11 日 (日) 自宅審議
- ▽ 12 日 (月) 一般質問
- ▽ 13 日 (火) 一般質問
- ▽ 14 日 (水) 一般質問
- ▽ 15 日 (木) 逐条審議 閉 会

※詳細は議会事務局にお問い合わせください。

大子町議会 広報委員会

- | | |
|------|---------|
| 委員長 | 大 森 勝 夫 |
| 副委員長 | 菊 池 靖 一 |
| 委員 | 中 郡 一 彦 |
| 委員 | 佐 藤 正 弘 |
| 委員 | 鈴 木 陸 郎 |
| 委員 | 齋 藤 忠 一 |

あとがき

名古屋市議会や大田原市議会には議会に提出された議案や一般事務に対して市民が 3 ～ 5 分間意見を発表できる制度があり、議会の質の向上と町政に住民の声を反映させる努力が始まっています。

大子町議会も、FM だいで一般質問が放送されるようになり 2 年。少しずつ議会が身近に感じてもらえるようになってきているのではないかと思います。議会だよりも「議会の見える化」を進めているところですが、住民の方々が町の現状を知り、考えるきっかけとなるよう紙面の充実に努めてまいります。

(菊池靖一)